

未来をつむぐライフマガジン

FREE PAPER

無料

ご自由にお持ち下さい

ボラみみ

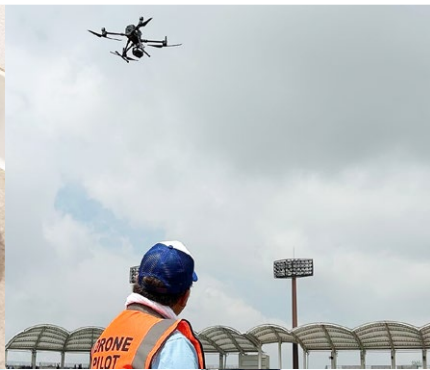
2024年 No.259

09・10 月号



その時に備える





今号のテーマは、**その時に備える。**

「楽観主義バイアス」という言葉を聞いたことはありますか。

異常事態に遭遇しても自分だけは大丈夫!と楽観的に考える心理的傾向のことです。

大災害のようなめったに起きない現象は経験がないため、楽観主義バイアスは強くなると言われます。

巻頭インタビューの防災士・椿佳代さんは、災害は他人事ではない、「わがこと感」を持って、と強く訴えます。

いつ自分に降りかかってもおかしくない時代を私たちは生きているのです、と。

防災・減災対策は安心につながります。

今号は、今すぐできる備えのヒントやアイデアをたっぷり詰め込みました。

さあ、防災月間、備えを見直す絶好のチャンスです。

INDEX

2024 9・10

- 災害大国日本に住む覚悟はありますか? P.02
防災士・災害ボランティアコーディネーター 椿佳代さん
- 地域で備える P.05
- 大地震や風水害に備える P.07
- 第83回 企業の社会貢献活動の現場から P.09
- あなたの街のボラスポ紹介! P.09
- CivicTech入門13 P.10
- ボランティア情報 P.11
- ボラみみINFORMATION P.15



上: 防災講座で避難経路確認 (三重県紀宝町)

左下: 足湯ボランティア (石川県穴水町)

右下: 床下清掃 (静岡県静岡市)

災害大国日本に

住む覚悟は

ありますか？



防災士・災害ボランティアコーディネーター
椿 佳代さん

Interview

名古屋市在住の椿佳代さんは、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震など全国各地の地震・水害の被災地で支援活動に尽力、その経験を生かして防災・減災の取り組みを多くの人に広めています。そんな椿さんが、今、力を入れているのが災害時のトイレ問題。1月1日の能登半島地震の後、トイレ環境の大切さをあらためて発信しています。能登半島地震での支援活動、そして災害大国に住む私たちが備えるべきことをうかがいました。



避難所のトイレ環境

1月1日に地震が発生して、4日の朝に石川県穴水町の避難所に入りました。トイレをのぞいたら、糞尿があふれかえってとんでもない状況になっていました。実はこんなに早い段階から避難所に入ったのは初めてで、避難所のトイレの現実を目の当たりにしました。すぐにでも掃除がしたかったのですが、炊き出しを行っていたのでぐとがまんして、夕飯の支度が終わってから、トイレ掃除をガーッとやりました。汚いとか不潔とかウイルスがとか言っている暇もなく、とにかく目の前をきれいにしなきゃいけないという思いがいっぱいで、9日間滞在していましたが、消毒液はあっても、石鹸でろくに手を洗えず、お風呂にも入れず、最後の日には、爪の中も手のひらのシワも真っ黒で、何回も洗わないときれいにならないくらいでした。

避難所の皆さんにトイレの講習会を早くしたいと思っ

ていましたが、5日の夕方にやっと叶いました。凝固剤のかけ方、新聞紙のかぶせ方、汚物処理の仕方などトイレの使い方、掃除の仕方を何度も講習しました。そして、リーダーの提案で、朝8時にホワイトボードに、フロア掃除やトイレ掃除といった仕事の項目をいくつか書き出し、名前を記入してもらい当番表を作ることにしました。そうして早くにルーティン化できたのはよかったですね。

避難所では過度なストレスを負います。パンやおにぎりや冷たい食べ物が多い。そこへもってきてトイレが汚い。本来、避難所にいる間は生活再建をするための一番大事な期間でもあるのです。そんなときに汚いトイレで、食事も粗末で、満身に寝られないところで生活するなんてありえない。トイレに行く回数を減らそうと水分を控えると、脱水や健康被害につながり、また運動不足からエコノミークラス症候群などの心配があり、災害関連死を招きかねません。快適なトイレ環境は健康を守るためにとっても大切です。

よりリアルな講習会を

トイレの講習会は10年くらい前から取り組んでいます。毎年のように地震や水害など大規模な災害が発生しているせいか、最近は問合せが増えています。講習会では、よりリアルに伝えるために、自作のうんこを用意します。小麦粉を使って作ります。台所で一生懸命作って、冷凍庫に保管しています(笑)。参加者はその模擬うんこ水を紙コップに入れて、トイレに見立てたものに流して凝固剤をふりかけます。固まる場所を見せると、凝固剤の役割や必要性がよくわかった、と納得してくれます。

トイレに行く回数は、1人1日平均5回～7回。だから「人数×回数×日数」で携帯トイレ※を用意する必要があります。1日分の量をまとめてみるとより具体的になり、皆さん多いとか重いとかおっしゃいます。それに加えて、自宅で使うトイレのアイデアとして、「天使の輪」を作りましょうと提案しています。各自が1回分気持ちよくできると、災害時のゴミもコンパクトになります。また、トイレの代用として、子どものおまるがあったらぜひ利用してください。新聞紙は必要ですが、今は新聞を取っていない人も多いので、各戸配布の名古屋市広報を取っておくことをおすすめしています。

携帯トイレに限らず、備えているものは実際に使って体験してみることで、その必要性もわかり安心につながります。

※携帯トイレ：凝固剤とポリ袋がセットになっているものなど種類は豊富にある。

楽しく非常食作り

避難所生活で大きな鍵を握るのがトイレ、キッチン、ベッドで、頭文字をとって「TKB48」と言っています。快適なトイレ、温かい食事、ゆっくりできる寝床を48時間以内に提供することが必要だということ。できるだけ通常の食を続けることが体調を保つために大切なので、非常時の食の講習会もしています。災害時の水はとても貴重なので、家にある水分でご飯を炊くことを想定して、ビール、ジュース、コーヒーで炊いたりします。普段はやってみようとは思わないので、講習会などで実際に作って食べてもらいますが、そんなに違和感はないですよ。デザートも作ります。アイスクリームを溶かして、食パンに塗って焼けばフレンチトーストになり、むちゃくちゃ美味しいです(笑)。普段から楽しんで想像力をもって作ってみるとおもしろいですよ!

おすすめは一鍋クッキング。食材や調味料を耐熱性のポリ袋に入れて、お湯を沸かした鍋で加熱するだけの簡単な調理方法です。鍋の水はお風呂の残り湯でも可能です。災害時を想定してメニュー作りをしています。野菜不足になる被災地では、夏でも具だくさんのお味噌汁を作ると喜ばれるんです。やはり温かい料理は究極の非常食だと思います。

椿さん伝授! 「天使の輪」を使ったおひとりさまトイレ

一人1回分、気持ちよく使えるトイレです。災害ゴミがコンパクトになるメリットも。

①天使の輪を作る



①新聞紙をタテ
に半分に折る



②さらに
三つ折りに



③輪にして端を
差し込む



②ポリ袋をかぶせる



天使の輪を置いてポリ
袋をかぶせる。

③トイレにセットする



45ℓのゴミ袋の上に
セットする。

④捨てる

汚物の上に凝固剤を振り入れ、空気を抜いて口をしぼって、蓋つきバケツなどに捨てる。(家庭ゴミとは別に)

★用意するもの:

新聞紙・ポリ袋(レジ袋)・凝固剤

4人家族が1週間に必要な
携帯トイレの数

人数4人×排泄回数7回×日数7日間=196回分

7日間で解消されればいいですが、能登半島地震では、1か月以上かかっているところもありました。



椿さん伝授！一鍋クッキング

かんかん 手軽にできる缶乾ハーモニー

鯖缶などの缶詰、切り干し大根などと白菜やキャベツなどを手でちぎってぼんぼんポリ袋に入れます。缶詰の味が濃いので葉物は少し多めに。空気を抜いてポリ袋の口を上の方で縛って湯せんします。あれば、煎り大豆やヒジキ、車麩、高野豆腐などを入れてもいいですよ。

乾物は保存食の優等生です。栄養も旨味も凝縮され、コストパフォーマンスもよく、ゴミも出ないからおススメです。

一鍋クッキング

ひとさべ



©2019 TSUBUKI Kayo

※一鍋クッキング：一つのお鍋で複数の調理が可能なポリ袋クッキング



地域の防災力アップに向けて

私は、自分が暮らす名古屋市東区の矢田学区で防災参与を務めていて、避難所運営の勉強会をしています。区役所が避難所運営リーダー養成講座を年1回開催していて、受講者たちと年に数回、「防災倉庫の備蓄品を使おうデー」を決め、トイレや段ボールベッドなど防災倉庫にあるものを出して、実際に使用しています。テレビや電話も配備してありますし、特にテレビの電池は、空気で発電するものでびっくりしました。これらは指定避

難所の小学校に備蓄されています。ただ、使い方を知らないといざというときに困るのがいっぱいあるんです。地下式給水栓とか下水道直結式トイレもそうですが、多くの人たちに使い方を知らしてもらい、いざというときに手伝ってもらいたい。地域力と防災力、両方大事ですが、多少防災力が低くても地域力が高ければ、困ったときに自然に助け合えます。普段から地域とのつながりをつくっておきたいですね。

「わがこと感」を持って備えを

2016年の熊本地震では、外国人の人たちは津波が来るのではないかと恐れて、「ここに津波は来ない」とわかるまでに時間がかかったという話を聞きました。日本人が伝える立場になることが大切です。2016年には多文化防災ネットワーク愛知・名古屋の立ち上げに関わり外国人支援にも取り組んでいます。

皆さん、災害大国日本に住む覚悟はありますか？覚悟して備えをして、知らない人に伝えていく。そうしないと家族はもちろん、外国人の命も、災害弱者である障がい者の命も救えない。南海トラフ地震では、「助けて!」という人の数が圧倒的に多く、「助けてあげるよ!」という人の数が少ないと想定されます。

自分は災害に遭わない、この前大雨降ったけど大丈夫だったから今度も大丈夫、とっていてはいけな時代には私たちは身を置いているんです。だから自分にも起こるとい「わがこと感」を持ってほしい。もし今地震が起こったら…を考える。そのためには何をしておかないといけないか。災害で命を落とさない、その後に災害関連死にならないための準備、心構えをしっかりとっておいてください。

椿さんのワンポイントアドバイス!

「家族の防災デー」をつくろう

今、断水になってトイレが使えなかったらどうするか、イメージしてみましょう。水道、ガス、電気を使わない日をつくって、その1日をどうやって生活するか。実際にやってみると、あれがあるといよねなど、たくさんの気づきから具体的な備えが見えてきます。ぜひ家族でチャレンジしてみましょう。すべてを使わないのが難しければ、今日は電気が使えせんということで、別々に実施してみるのもいいですね。

地域で備える



名古屋市西区防災ワークショップ

～「マイ・タイムライン」をつくってみよう～

名古屋市西区役所主催による、山田支所管内の5学区を対象とした「防災ワークショップ」が開催されました。それぞれの学区から代表者が参加し、合計で21名の参加者が集まりました。前半は講演とパネルディスカッションが行われ、後半には参加者が実際に「マイ・タイムライン」を作成するグループワークが行われました。「マイ・タイムライン」とは、いざというときに慌てることのないよう、避難に備えた行動を自分自身であらかじめ決めておく、「避難行動の時間割」のことを言います。

講師として招かれたのは、NHKのお天気キャスターであり、気象予報士で防災士の資格も併せ持つ土井邦裕さんです。土井さんは、「近年の気象災害と防災情報の活用法」というテーマで講演を行い、近年の気象災害の事例を挙げながら、地球温暖化の影響でこれらの災害が頻発していることを説明するとともに、局地的な集中豪雨を引き起こしている線状降水帯のメカニズムなどについて分かりやすく解説しました。

さらに土井さんは、災害時の警戒レベルや避難情報の重要性についても触れ、住民が取るべき行動や避難計画の作成方法について説明しました。具体的には「マ



イ・タイムライン」の作成方法やハザードマップの活用法、リアルタイム情報「キキクル」の利用方法などを紹介し、参加者は防災情報の活用の仕方を学ぶことができました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、ボラみみより情報局代表の織田のコーディネートのもと、土井氏と「なごやにし災害ボランティアの会」代表の田中氏が登壇しました。田中氏は地域特有の事情や個別の事情に応じた避難計画の重要性を話題に挙げ、土井氏も田中氏の話を受けて、日頃からの備えの重要性について語りました。

後半のグループワーク「マイ・タイムラインをつくってみよう」では、「なごやにし災害ボランティアの会」のボランティアの皆さんが進行役を務めました。参加者が個々にマイ・タイムラインを作成し、その後、グループの中で自分が作成したマイ・タイムラインを紹介し合うとともに、自分たちの学区内で災害時に気をつけるべきことなどについて話し合いました。参加者の皆さんは、グループワークを通じて避難行動に対する新たな気づきが得られたようでした。グループ内の話し合いは非常に活発に行われ、時間が足りないほどの盛り上がりを見せました。

参加者からは「避難のタイミングが重要なことを認識した」「自分の家の周りのことを、同じ地域の人に聞いたのも貴重な経験だった」などの意見が聞かれました。今回のワークショップを通じて、地域全体で防災意識を高めることができ、参加者が実際に役立つ知識を得る貴重な機会となりました。



皆さんは「自助」「共助」「公助」という言葉を聞いたことがありますか?「公助」は国や地方団体が取り組む対策のことを指しますが、まずは自分のことは自分で守る「自助」や、地域で助け合う「共助」が、災害対策では重要とされています。今回は、各地で行われている「自助」や「共助」を学ぶ取り組みについて、2つの事例をご紹介します。

地域と共に学ぶ防災

～ 学生 × 防災ボランティア ～

名古屋市北区では数年前から、北区社会福祉協議会と北生涯学習センターの共催により、名古屋きた災害ボランティアネットワーク(以下きたボラ)の協力のもと防災講座を実施しています。今年度は愛知学院大学も参画し、「考えよう!私たちにできる災害への備えや支援～きた災害ボランティアから学ぶ防災～」という4回の連続講座を実施、そのうちの3回目を愛知学院大学の学生が企画・運営しました。

愛知学院大学はこれまでに、NPO、北区役所との連携による北区の防災マップ作りや大学生消防団の活動を通じて、地域密着の防災に取り組んできました。今回は授業の一環で、きたボラとの連携により学生が防災について学ぶとともに、講座運営の補助や実際の運営を行いました。「学生が防災を切り口に地域とのつながりを学び、講座を通して実際につながりを体感する機会となります。大学のある地域に住んでいる学生ばかりではありませんが、ここでの学びや経験を生かして自分の地域で活動する人材になってほしい」と、担当の藤井勉さん(愛知学院大学・社会連携センター)は話します。

学生が企画した講座のテーマは「非常時のトイレ」。きたボラの皆さんから防災の基礎や能登半島地震について学び、被災地で活動してきた人から話を聞き、学生自



身も様々な情報を集めた上で決定しました。「何気なく使っているトイレを見直してみませんか」という問いかけから始まり、トイレについて改めて考えるための発表、ワークショップを学生が進行しました。段ボールトイレを作るワークショップでは各グループに学生ときたボラメンバーが入り、基本的な作り方を学生が説明し、きたボラメンバーが作り方のコツや工夫を補足しながら、受講者2人1組でトイレを作りました。受講者からは「非常時に使えるように段ボールトイレを作って、置いておこうと思った」「学生さんとお話ししながら作ることができて、参加してよかった」、きたボラメンバーからは「災害時もみんなで協力してやらないといけない。協力して作る経験ができてよかった」と、好評でした。学生からも「地域の方や高齢の方と話すことは楽しく、自分たちが考えた講座に真剣に取り組んでくれてうれしかった」、「防災意識の高さを感じた」との声が聞かれました。また、防災知識が豊富な方、伊勢湾台風を経験した方もいて、そうした受講者との会話は「防災に限らず、普段の生活にも役立つ学び」になったようです。

授業を終えた学生たちは、「自分が暮らす地域が、津波や浸水の被害を受けやすいのかどうかなどを知っておくこと」、「地域みんなで協力すること」の大切さを感じ、「行政からの支援が届くまでに時間がかかることも学んだので、自分自身や、地域で備えておくことが大事だと思った」と、日頃の備えへの意識が高まったようです。学生と地域住民・ボランティアが共に学び、備える。こうした取り組みの積み重ねが、いざという時の力になるのでしょうか。



大地震や風水害に備える

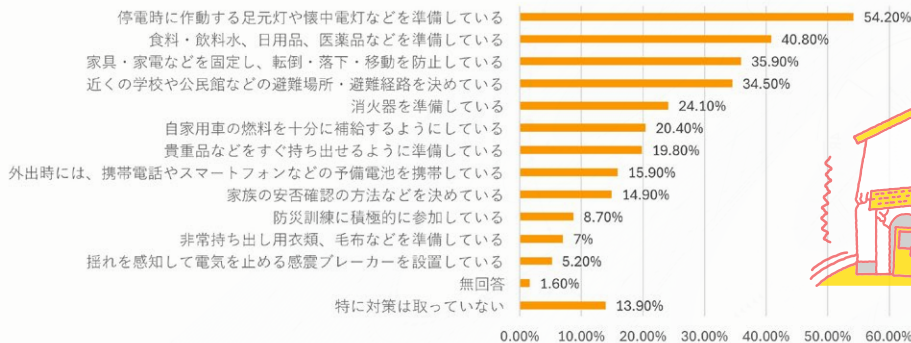


近年、日本では自然災害による被害が増加しています。2024年1月1日の能登半島地震では、家屋倒壊や断水など甚大な被害が発生し、現地では今も避難生活が続いています。2024年7月25日からの大雨により東北地方の日本海側で複数の河川が氾濫し、この原稿を書いている今も大雨への警戒が報道されています。

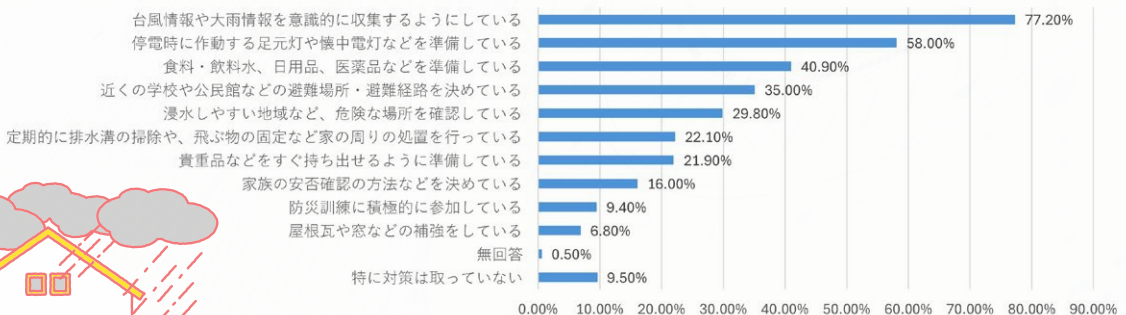
自然災害への対策は、事前の備えが大切であるといわれています。内閣府が行った『防災に関する世論調査』によると、「大地震に備えての対策を取っていない」は13.9%、「風水害に備えての対策を取っていない」は9.5%と少なく、どちらの災害に対しても、何らかの備えをしている人の割合は多いように思うかもしれません。

しかし、一つひとつの備えの内容の割合を見ていくと、それほど十分な備えがされているわけではないことが分かります。「停電時に動作する足元灯や懐中電灯などの準備」は、大地震で54.2%、風水害で58%とかなり半数を超えている程度です。「食料・飲料水、日用品、医薬品などの準備」は、大地震で40.8%、風水害で40.9%と半数を割っています。ひとたび災害が起きると流通が止まり、あらゆるものが手に入りにくくなります。この記事を通じて、「大地震と風水害に備えての対策」のグラフをチェックリスト代わりにして、できることから備えていきませんか。

大地震に備えての対策



風水害に備えての対策



出典：「防災に関する世論調査(令和4年9月調査)」(内閣府) <https://survey.gov-online.go.jp/r04/r04-bousai/>
世論調査報告書概略版からデータを引用して作成しました。

知っててよかった! 『マメ知識』



災害に対して、皆さんは、どんな備えをしていますか? 事前の準備が、いざという時あなたとあなたの大切な人を守るカギとなります。今こそ防災対策を見直しましょう。

災害時の待ち合わせ、どうする?

自宅近くの避難所・避難場所は知っていますか? 町のハザードマップやホームページで事前に確かめておきましょう。学校や会社に出掛けていて災害に遭った時に備え、家族で待ち合わせ場所を話し合っておきます。その時、例えば小学校といっても広いので、北門か南門か、体育館の中ならどのあたりかをピンポイントに決めておく。そして12時、3時、6時など時間を決めて、10分間待つ。場所と時間をピンポイントに決めることで、混雑する中で早く確実に落ち合う可能性が高くなります。

断水してしまったら?

地震が起きて断水してしまった時に備えて、名古屋市には応急給水施設や、災害時に組み立てて使える下水道直結型の仮設トイレ(トイレ本体は指定避難所に保管)が設置できるマンホールがあります。応急給水施設の中でも「地下式給水栓」は、災害時に市民自らが操作することで、飲料水を確保できる設備です。名古屋市内のすべての市立小中学校に整備されていて、必要な器具は各小中学校に保管されています。防災訓練などで、操作の仕方や組み立て方などを実際に経験しておくことが大切です。



地下式給水栓



下水道直結式仮設トイレ

提供元:名古屋市上下水道局

ペットとの避難、どうする?

災害時にペットをどうしたらいいか不安ですよね。愛知県内には、ペットと避難できる避難所があります。名古屋市では、犬や猫を連れて市立小中学校に避難できます。避難所では、ペットは屋外を含む指定の場所で飼育することになりますが、犬山市など一部の避難所ではペットとの同室も可能です。

※避難所やペットの種類によっては、ペットを受け入れられない場合があります。事前に、住んでいる自治体の情報を確認しておきましょう。

【ペットの避難アイテム】

最低でも1週間分を用意しておきましょう。

- ・薬(持病がある場合の常備薬)
- ・ペットフード/水
- ・ケージ
- ・首輪/リード
- ・トイレ用品
- ・食器



スマホにアプリを備えましょう!

災害時に大切なこととして、正確な情報を得ることがありますが、防災アプリもその有効な手段のひとつです。防災アプリには民間企業や各自治体が提供するものなど数多くあり、その機能も、気象・災害情報の提供だけでなく、避難場所の検索や安否確認機能など多種多様です。

どれがいいか迷ってしまいますが、防災アプリを選ぶ3つのポイントを紹介します。

①自分がよく行く地域の情報が得られること。勤務地などの情報もカバーできるといいですね。②自分に必要な機能が備わっていること。事前にどんな機能が必要か整理しておきましょう。③なんといっても使いやすさ。デザインや操作性など自分が気に入ったものを選んでください。この機会に、スマホにもアプリを備えておきましょう。



地元企業の社会貢献活動について、各担当者に自社の活動を紹介していただいております。83回目となる今回は、有限会社天美堂塗装処です。

自助・共助・公助で地域を守り、「誰一人取り残さない」

有限会社天美堂塗装処 代表取締役 野々山 賢一

様々な社会問題が取り上げられる現代、天美堂塗装処は塗装工事業の域から活動の範囲を広げ、地域を守る活動を進めています。

1. 罪を犯してしまった人の社会復帰支援

「刑法犯認知件数^{*}」は、平成14年度は285.4万件だったのに対し、令和5年度は70.3万件でした(令和5年度犯罪白書より)。平成14年度のピーク時より大きく減少しており、日本の治安は向上しているとも言えます。しかし、二度以上の罪を犯す人の割合は何十年も横ばいです。再犯をしてしまう人の中には、生活困窮者などの社会的弱者であることも多いことから、弊社は平成22年度より、協力雇用主として対象者を迎え入れ、職を通じて二度と罪を犯さないよう社会復帰を支援しています。関係行政からの依頼を含め、これまで約50名の支援に当たってきました。その経験を踏まえて国や地方公共団体、関係団体と連携し、制度と手法の充実を図りながら、地域の更なる安全を目指しています。

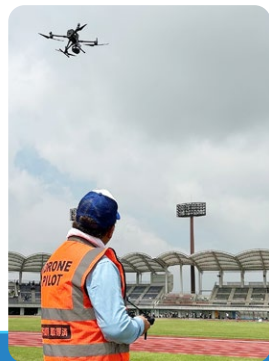
※警察がくある事実を刑法に違反する行為として認めた数



2. 大災害から地域を守る

短期間で日本に襲い掛かる大災害。東海地方も待たなしの状況にあることは周知の事実です。大災害は備えるものとし、一昨年より地域の災害リスクを最小化すべく、無人航空機(ドローン)による減災を目指す取り組みを始めました。災害が起きた際には法令を順守しつつ、要救助者の早期発見、被害状況の把握、いち早い復興に向け、「ドローン減災士」の資格を持った社員が対応に当たります。

困難な状況に陥った人の支援を多くの方々と共にやり、誰一人取り残さない社会を目指し続けたい。それが私たちの願いです。



有限会社天美堂塗装処

〒448-0007 刈谷市東境町大池18-2 TEL: 0566-36-1050 ホームページ: <https://tenbidou.co.jp>

●●●● 次回は、東海電炉株式会社をご紹介します。

あなたの街のボラスポ紹介!

ボランティアやNPOの情報を得ることができる
あなたの街のボランティアスポットを紹介していきます。

東浦町総合ボランティアセンターなないろ

人と人とのつながりを広げたい!



東浦町総合ボランティアセンターなないろは、住民のみなさんのボランティア・市民活動を支援する拠点です。現在、120のボランティア・市民活動団体がなないろに登録されており、様々なジャンルの活動を進めています。また、ひがしうらおすそわけ隊をはじめとする個人登録のボランティアも増加傾向にあり、ボランティア・市民活動の機運が高まっていると感じます。

ボランティアを依頼したい方や新たな出会いやつながりを求めている方のご来館も大歓迎です!ぜひ、お気軽にお越しください。

- 所在地 知多郡東浦町大字緒川字屋敷貳区61番地の1
- 連絡先 TEL: 0562-51-7697 FAX: 0562-51-7697
E-mail: nanairo@ma.medias.ne.jp
- 開館時間 9:30 ~ 20:00(火曜日は21:00まで)
- 休館日 日・月曜日、祝日、年末年始





「シビックテック」ってご存知ですか？直訳すると「市民技術」とでも言いましょうか。市民や行政とIT技術者が協力しつつ、ITをうまく活かして社会課題に取り組む活動です。2013年にCode for Japanという団体ができた後、「Code for OO」という団体が日本中に80ほど生まれ、各地でシビックテック活動に勤しんでいます。この連載では、名古屋のシビックテック団体Code for Nagoyaの関係者が、いろいろなシビックテック事情をご紹介します。

今号では、Code for Nagoyaの齋藤仁志さんに、「オープンデータを活用したアプリ開発」と題して、ご自身のシビックテック活動についてご紹介いただきます。

きっかけは東日本大震災

私のシビックテックのメイン活動はアプリ開発です。開発を始めたきっかけは東日本大震災でした。2011年3月、大学の卒業研究を終えて、卒業を待つばかりの身になった私は、当時、家で家族と過ごしていました。大震災が発生したとき、愛知県では長周期地震動の横揺れが起きていました。その後、被災地の惨状を知り、「日本でもこのような災害が起こるのか」と驚いたことを今でも覚えています。そのときの感情が私の活動の原点となり、以後、地域課題を解決するアプリ開発を続けています。

オープンデータをご存知ですか？

皆さんはオープンデータをご存知ですか？私のシビックテックの活動はオープンデータから成り立っています。商用・非商用を問わず、自由に二次利用(加工・再配布)できるデータをオープンデータと言います。国や自治体の公共データや民間が公開しているデータもあります。開発を始めた当時、防災に関する多くのオープンデータが公開されていて、そのデータを活用した防災アプリを開発しようと決めました。

「防災INSIGHT」を公開

2017年6月、防災アプリ「防災INSIGHT」を公開しました。防災についての学習機能や、避難場所や気象の情報など、防災に関する情報を詰め込んだアプリです。国が開催していたアプリコンテストにも応募し「防災アプリ賞」を受賞させていただきました。私のシビックテックの活動の自信につながった思い入れのあるアプリです。

今年は教育に力を入れていく

これまで、防災から子育て、環境、医療など、様々なアプ

リを開発してきました。2024年は教育分野に力を入れていこうと思い、3月に「デジタル地球儀」を公開しました。地球儀をグルグルと回しながら、日本や世界の地理が学べるアプリです。ぜひ、使ってみてください。

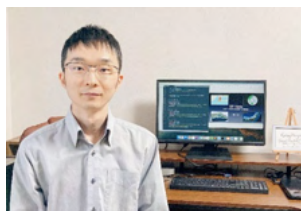


デジタル地球儀

<https://digital-globe.netlify.app/>

今後の展望

私のシビックテックの活動は、今年で10年目となりました。これまでCode for Nagoya、Code for Gifuなどのイベントに参加してきましたが、今後は、自分でもイベントを企画してみたいです。子どもたちがシビックテックに関心を持ってもらえるようなイベントを企画できれば良いと思っています。



仁志ウェブサイト

<https://hitoshi2s.netlify.app/>



ボランティア初めの一歩 大切なマナー&ルール

- さまざまな状況により、変更・中止等となる場合もあります。必ず事前に各団体にご連絡ください。
- 希望のボランティア先へ連絡するときは、まず名前を名乗って、用件（ボランティアに参加したい・詳しく聞きたい）を正確に伝えましょう。
- ボランティアへの参加当日、急用で参加できなくなったときは、必ず電話連絡を。また、約束の時間は守りましょう。

子どもの話を聴くボランティア養成講座受講者募集



子どもの気持ちや思いを電話やチャットで聴くボランティアの養成講座を開催します。基礎講座は子どもの声を聴くために必要な講義が動画視聴で受講できるため、ご自分のペースで学ぶことができます。また、実際に電話やチャットを受けることを希望される方は実践講座へと進んでいただけます。詳しくはメールでお問い合わせください。

青少年 生涯学習 名古屋市 中区他

- 日 時：基礎講座 8月10日(土)～11月16日(土)動画視聴＋公開講演会
実践講座 12月1日(日)～2025年5月24日(土)全8回
- 場 所：なごや人権啓発センターソレイユプラザなごや他
名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ12階
- その他：ホームページからお申込みください。10月中旬頃まで受付中。【参加費等】基礎講座、実践講座 各10000円(学生各5000円)【定員】50名・先着順

NPO法人チャイルドラインあいち

問合せ 担当：高橋
TEL/FAX:052-822-2801(14:00～18:00)
E-mail:info@cl-aichi.net



シーン・ボイスガイド(場面説明)付映画会のご案内



「あいち国際女性映画祭」にて、シーン・ボイスガイド(場面説明)付映画会を開催します。上映作品は、9月7日(土)は「勝手に流れた星だから」と「ワタシって何もの」、9月8日(日)は「わたしかあさんー天使の詩ー」。作品の詳細は、ボイス・ケインのホームページでご確認ください。

文化 障害者 名古屋市 東区

- 日 時：9月7日(土)14:20～15:30 9月8日(日)10:00～12:00
開場は上映時間の20分前
- 場 所：ウィルあいち(愛知県女性総合センター)ウィルホール
名古屋市中区上三軒町1
- その他：前日までに、ボイス・ケインの仲間または担当者にお申込みください。【参加費等】前売券1000円、当日券1300円(視覚障害者600円、随行者600円)【子ども連れでの参加】可能

視覚障害者の情報環境を考える会(ボイス・ケイン)

問合せ TEL/FAX:052-889-5930(9:00～21:00)
携帯:090-9027-2103(9:00～21:00)
E-mail:paris106fr@gmail.com 担当：大西



大曽根商店街通り将棋大会



杉本昌隆八段ご協力のもと、東海3県から抽選で選ばれた総勢100名の参加者で各リーグに分かれて対局を行います。ボランティアさんには会場準備(テント設営や机・椅子を運んで対局準備など)とイベント終了後の会場片付けをメインに、イベント中は対局の見守りや誘導などの活動を行っていただきます。

まちづくり 文化 名古屋市 北区

- 日 時：9月22日(日)終日(7:00～17:00予定)
- 場 所：大曽根商店街
名古屋市中区大曽根2-11周辺
- その他：電話、FAX、Eメールにてお申込みください。
【子ども連れでの参加】可能
【申込〆切】9月16日(月・祝)【定員】25名・先着順

NPO法人わっぱの会 担当：服部

問合せ TEL:080-7462-9234(9:00～20:00)
FAX:052-908-1997
E-mail:info@sone-ozone.com



アジア各国の研修生たちとの交流会



アジア各国から研修にやってくるNGOワーカーたちとの交流会を開催します。英語ができなくても大丈夫!気軽なグループトークを通して、各国の現場で活動している研修生たちのリアルな声を聞いてみませんか。初めて聞くことや知らなかったことなど、新たな発見がたくさんあるのではないのでしょうか。

国際 文化 愛知県 日進市

- 日 時：9月28日(土)13:00～17:00
- 場 所：日進市米野木町南山987-30
- その他：Eメール、電話、ホームページの問い合わせ、申し込みフォームのいずれかからお申込みください。
【子ども連れでの参加】可能

公益財団法人アジア保健研修所(AHI)

問合せ TEL:0561-73-1950(9:00～17:00)
FAX:0561-73-1990
E-mail:info@ahi-japan.jp 担当：木村・牧



第1回 守山区ポッチャ大会



名古屋市守山区内において、第1回となる守山区ポッチャ大会を開催するにあたり、当日の大会運営サポート等のボランティアを募集します。児童の部、障害の部、高齢の部の3部門で大会を開催いたします。

スポーツ 障害者 名古屋市 守山区

- 日時: 10月13日(日)8:30~16:00
- 場所: 志段味スポーツランド体育館
名古屋市守山区大字下志段味字生下り2287-1
- その他: FAX、またはホームページの「お問い合わせ」からお申込みください。【持ち物】体育館シューズ・飲み物・タオル【申込〆切】10月1日(火)【定員】20名・先着順

守山区ポッチャ協会 担当:長谷川
TEL:052-758-5275(10:00~17:00)
FAX:052-758-5276
E-mail:boccia.moriyama@gmail.com



「夢いっぱいの特等席」会場運営ボランティア



「音楽の喜び・楽しみをすべての人に」との思いを込めて、障がいのある方々にも本格的なホールで生のオーケストラの演奏を楽しんでいただける公演です。ご来場の方々に安心して聴きいただけるよう、会場運営ボランティアを募集します。具体的には、車椅子スペース案内、客席案内、場外案内等をご担当いただきます。

文化 障害者 名古屋市 熱田区

- 日時: 10月15日(火)9:00~15:45頃
※ホール内ロビーにて9:00集合・受付をお願いします。
- 場所: 名古屋国際会議場センチュリーホール
名古屋市熱田区熱田西町1-1
- その他: Eメールにてお申込みください。天候状況等により中止の可能性がります。
【申込〆切】9月13日(金)【定員】5名程度

公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団
担当:小林
TEL:052-339-3333
E-mail:kobayashis@nagoya-phil.or.jp



リサイクルで海外協力



全国から寄せられた「道具」の仕分け、手入れ、発送準備などを行います。2日間に掛けて行いますが、1日だけでも参加自由です。皆さまのご協力お待ち申し上げます。誰でもできることばかりなので、楽しみながら参加していただけたらと思います。

国際 環境 愛知県 豊田市

- 日時: 10月26日(土)13:00~16:00
10月27日(日)9:00~15:00
- 場所: 豊田市旭八幡町敷田173-1
- その他: 車での参加が基本となりますが、車で来られない方はご相談ください。参加費は参加形態により異なります。電話、FAX、Eメール、ホームページの問合せから事前にお申込みください。【子ども連れでの参加】可能【申込〆切】10月23日(水)

自立のための道具の会・TFSR Japan
担当:鈴木
TEL:0565-68-3637(8:00~18:00)
FAX:0565-68-2817 E-mail:tools@tfsr.jp



おまつりボランティア大募集!



「TUTTI」は主に知的障害がある方たちが通う施設です。今年は5年ぶりにTUTTIまつりを開催します。まつりを盛り上げてくれるスタッフを大募集!飲食の模擬店、バザー会場、イベントのお手伝いなど、一緒に楽しくおまつりを作ってください方のご協力をお願いします。お友達同士も大歓迎です。

障害者 名古屋市 名東区

- 日時: 11月10日(日)9:30~14:30
- 場所: 名古屋市名東区藤森西町301-1
- その他: 電話、FAX、Eメールにてお申込みください。Eメールの場合、件名に「おまつりボランティアについて」とご記入ください。軽食・お茶をご用意します。
【子ども連れでの参加】可能【申込〆切】10月31日(木)【定員】20名

社会福祉法人TUTTI 担当:寺島
TEL:052-760-5055(9:00~17:00)
FAX:052-760-5056
E-mail:tutti@gol.com



NPO法人・一般社団法人 設立・会計・税務等の支援をします お気軽にご相談ください

サカエ税理士法人 税理士・公認会計士 遠島敏行
名古屋市中村区黄金通2-54 TEL:052-482-6600
URL: http://www.sakaetax.com
http://www.seturitu-unei.com/
E-mail: info@seturitu-unei.com

地域に根差す 社会貢献企業へ

2021年2月 SDGs宣言

ニーズに応える印刷会社

デジタルコンテンツ・AR(拡張現実)等

オフセット印刷

商業印刷全般

セキュリティ印刷

金券、商品券、証明書等

防災マニュアル・飲料水



菱源株式会社

https://hishigen.co.jp

〒490-1144 愛知県海部郡大治町西條松下75
TEL:052-444-2323 FAX:052-444-2636
【東京営業所】TEL:03-5577-5686

●菱源株式会社は「ボラみみ」を応援しています。

ISO14001:
2015認証取得



気軽に
お問い合わせ
ください

ボランティア活動員募集!



名大病院で活動して下さるボランティアを募集しています。活動内容は、病院内の場所案内、車いすの方の移動のお手伝い、初診患者さんの書類記入のお手伝いや代筆、再診患者さん向け受付機の操作のご案内、患者図書室での本の整理や貸出し等です。※患者図書室は現在閉館中ですが、段階的に再開予定です。

医療 高齢者 名古屋市 昭和区

- 日時: 月～金曜日いずれかの9:00～12:00(3時間)
- 場所: 名古屋大学医学部附属病院 外来棟・中央診療棟または患者図書室 名古屋市昭和区鶴舞町65
- その他: 「ボランティア活動申込書」を郵送またはFAXでご提出ください。申込書は本院ホームページからダウンロードしてください。【条件等】18歳以上70歳未満で健康な方。1年以上継続でき、原則週1回(3時間)以上活動できる方

名古屋大学医学部附属病院 医事課
患者支援係 ボランティア担当
TEL:052-744-2854(平日9:00～17:00)
FAX:052-744-2880



ALOE(海外生活体験のある女性の会)会員募集中!



海外で生活をしたことのある女性の集まりです。現地で見聞きした人々の生活や、彼等との交流から学んだボランティア精神を日本の社会でも活かせたいという思いで、1985年春に誕生しました。主な活動は、日本語教室、海外前後赴任サポート、国際交流イベント参加や開催などです。

国際 名古屋市中区

- 日時: 【例会】第3火曜日10:30～12:00 【日本語教室】対面 木曜日10:30～12:00/オンライン 月曜日10:30～11:30他
- 場所: あいち国際プラザ/オンライン 名古屋市中区三の丸2-6-1
- その他: ホームページの「問い合わせ」フォームから、またはEメールにてお問い合わせ下さい。【参加費等】年会費3000円【資格、条件等】海外生活1年以上ある女性の方

ALOE(海外生活体験のある女性の会)
担当: 岩田
E-mail: aloenagoyavol@gmail.com



利用者さんと楽しく過ごしていただける方募集



事業所内で障害者の方の支援手伝いや創作・レクリエーション活動の補助を行っていただき、利用者さんと楽しく過ごしていただける方募集しております。

障害者 愛知県 一宮市

- 日時: 平日9:00～16:00 短い時間でも構いません
- 場所: 一宮市萩原町東宮重字蓮原48
- その他: お電話にてお申込みください。【持ち物】履きなれた靴(室内履き)

社会福祉法人コスモス福祉会
一宮市立はぎわら生活介護センター
担当: 赤井
TEL:0586-69-2300(9:00～17:30)
E-mail: hagiwaraseikatukaigo@helen.ocn.ne.jp



「学習支援・子ども食堂サポーター」募集



勉強を教えるのではなく一緒に答えにたどり着くような、どなたにでもできるサポートです。学び直し、教育や福祉に関心のある方におすすめです。併設の子ども食堂のお手伝いも募集。様々な大学の仲間と一緒に子どもたちを応援しましょう!※「尾張旭市まちづくり活動貢献学生認定制度」の対象

青少年 生涯学習 愛知県 尾張旭市

- 日時: 毎週土曜日8:30～16:30
- 場所: 多世代交流館いきいき 尾張旭市稲葉町1-41-1
- その他: 下記問合せ先、QRコードよりお申込みください。地下鉄東山線「藤が丘」、名鉄瀬戸線「尾張旭」より送迎有。ボランティア活動証明書発行。交通費実費支給、子ども食堂の昼食付き。

NPO法人しみんシップnet
担当: 伊藤
TEL:070-3144-6485
E-mail: shiminship@gmail.com



あなたのほしい情報がメールで届きます

団体からボランティアのお誘いが来ます

やりたい活動が見つかるボランティア登録サイト

みみライン

一宮のまちづくりスタッフ募集



一宮市でのまちづくり活動に関わりません。チラシ配布などの簡単な軽作業から、イベントの企画・運営、デザイン、開発まで、様々な参加の形があります。イベント運営に加え、「一宮市市民活動支援センター」の運営や「com-cafe三八屋」「一宮ブルワリー」の経営、都市再生推進法人としてのまちなかりノーションまで様々な活動しています。

まちづくり 団体支援

愛知県 一宮市

- 日 時：木曜日19:00～21:00の定例ミーティング、その他随時（自由参加）
- 場 所：一宮市中心市街地（i-ビル、本町商店街ほか公共路面上、一宮市市民活動支援センター、プリンスアレイ、com-cafe三八屋など）
- その他：NPO法人志民連いちのみや「まちズン」ページ（QRコード）からお申込みください。【定員】20名ほど

NPO法人志民連いちのみや

問合せ 担当：星野
TEL:090-2265-9188
FAX:0586-72-8885 E-mail:info@shimin.org



脳卒中支援団体でのボランティア募集



脳卒中の後遺症のある人がつとめる喫茶店と習い事教室を運営しています。ボランティアとしてサポートしてくださる方を募集します。共に楽しい時間を過ごすことを大切にしています。募集内容は、喫茶（ドリンクを運んだり、楽しくおしゃべり）、ピース教室（障害者の方が作品を作る補助）、ミシン教室（ミシンでカバン等を作る知識や経験のある人）です。

障害者

名古屋市 中区

- 日 時：喫茶：月～土曜日11:00～15:00（月に1日からOKです）
ピース教室：毎週火曜日13:30～16:00
ミシン教室：毎週木曜日13:30～16:00
- 場 所：名古屋市中区錦2-13-24先 伏見地下街
- その他：お電話もしくはホームページの問合せフォームからお問い合わせください。

NPO法人ドリーム

問合せ 担当：加賀瀬
TEL/FAX:052-231-0350(9:00～18:00)



児童養護施設での学習支援ボランティア



社会的養護を必要とする子どもたちを応援する活動として、児童養護施設で中学生を対象に（小学生参加の場合あり）、高校を卒業できる学力をつけてもらうため、現地（またはオンライン）での学習支援を行っています。教えた経験がない方も、教える自信のない方も、子どもが好きな方ならOKです。

青少年

愛知県 尾張旭市

- 日 時：土曜日（休みあり）9:50～12:00
- 場 所：児童養護施設蒲生会 大和荘
尾張旭市柏井町公園通512
- その他：施設の都合などでお休みになることがありますので、必ず事前にEメールにてお問い合わせください。活動の様子は、ホームページをご覧ください。

NPO法人ジュヴェニル

問合せ 担当：山中
E-mail:mail@juvenile.aichi.jp



日本語ボランティア募集



いろいろな国の人が集まって、日本語で会話をするグループです。経験・資格は必要ありません。興味のある方は、気軽に参加してください。

国際

名古屋市 西区

- 日 時：毎週日曜日10:30～12:00（第5日曜日はお休みです）
- 場 所：名古屋市西生涯学習センター
名古屋市西区浄心1-1-45
- その他：Eメールにてお申込みください。【最寄り駅】地下鉄鶴舞線「浄心」徒歩1分

にしにほんごの会

問合せ 担当：犬飼・増田
E-mail:nishinihongo@gmail.com



「ボラみみ」の財源は、みなさんの支援です。



ボラみみ

毎号9千部発行の『ボラみみ』は、ボランティア情報を無料で掲載、無料で配付しています。発行にはたくさんのボランティアが力を注いでいますが、それでも毎回多額の資金がかかります。是非会員になって『ボラみみ』を支えてください。

会員種類と特典

●が得られる特典です。

	賛助会員		正会員	
	個人・団体	法人	個人・団体	法人
年会費	3,000円	10,000円	10,000円	50,000円
ボラみみの活動がわかる年3回のニュースレター	●	●	●	●
市民活動の情報満載の『ボラみみ』が年6号	●	●	●	●
ボランティア情報の優先掲載			●	●
NPOや企業の広報掲載料の割引			●	●
ボラみみの事業活動・運営に参加ができる（総会の議決権）			●	●

■ 振込先 特定非営利活動法人ボラみみより情報局 郵便振替口座/00830-9-71034 三菱UFJ銀行柳橋支店（普）/1799329



新規・継続会員登録の方々（順不同）

■法人正会員：

【継続】●社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会様
●名古屋大学医学部附属病院様

■団体正会員：

【継続】●特定非営利活動法人ジュヴェニル様
●特定非営利活動法人志民連いちのみや様

■個人正会員：

【継続】●匿名1名

■法人賛助会員：

【継続】●社会福祉法人TUTTI様 ●社会福祉法人楠福祉会 あじま作業所様 ●社会福祉法人てとろ様
【新規】●インサイドアジア・ツアーズ・リミテッド様

■賛助会員：

【継続】●山本 卓也様 ●東 勝利様
【新規】●匿名1名

【継続】●特定非営利活動法人みたち・50万人の木曾川水トラスト様

■寄付

●愛知県図書教材協会様 ●匿名31名



「ボラみみ」配布先

— 詳細はホームページにて掲載中！ —



●WEBより

●携帯より

<http://www.boramimi.com/haihu/>



QRコード



みんなの声

●公益財団法人アジア保健研修所 (AHI) 様

今後も幅広い層の方から参加を募りたいので、また掲載したいです。

●ビッグイシュー名古屋ネット様

ボランティア情報誌としての信頼が高く、また長年お世話になっているので、これからも掲載をお願いしたいです。

●特定非営利活動法人ささしまサポートセンター様

ボランティアさん（特に大学生）に参加してもらいたいのので、また掲載したいです。

●千種パソコン支援ボランティア様

ボランティアに興味がある方が見られる媒体なので、講座開催の折には、また掲載をお願いしたいと思います。



編集後記



「大地震や風水害に備える」の原稿を書きながら、2011年から7年ほど愛知県被災者支援センターの運営に携わっていた頃のことを思い出していました。東日本大震災により避難されてきた方が愛知県にも1,250名ほどいらっしゃいました。その方々を支援するため、たくさんの人に助けをもらいながら、センターの運営を続ける日々でした。「もの」の備えも大切ですが、近隣の人たちと助け合える関わりも「備え」として大切であることを、改めて振り返りました。



次号予告

次号のテーマは「自分らしく はたらく」。

2024年11月1日発行予定です。お楽しみに！

特定非営利活動法人
ボラみみより情報局

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F TEL 052-228-7824 FAX 052-228-7834
E-mail office@boramimi.com URL <http://www.boramimi.com/> 代表 織田元樹 印刷 菱源株式会社

センター主催講座・イベントのご案内

9/28[土] NPO講座「NPO法人設立のしかた編」

→ 14:00～16:00 (9月11日受付開始)

「NPO法人ってなに?」「どうやってNPO法人を設立するの?」など、NPO法人の設立前に準備するものや書類作成のポイントを学べる講座です。申請書類をチェックしているスタッフが説明します。NPO法人の設立を考えている方はぜひどうぞ。

■定員: 30名 ■参加費: 500円 ■講師: 市民活動推進センター職員

10/23[水] ボランティア入門講座 ～ボランティアへのはじめの一步～ 今回のお題は、「こども食堂」

→ 14:00～16:00 (9月11日受付開始)

「ボランティアをしたいけど、どうしたらいいの?」「自分にできるボランティアってなに?」そう思っている方にオススメのボランティアのスターター講座です。経験豊富なボランティアが活動のイロハを語ります。自分に合ったボラを探すチャンスをお見逃しなく!今回は、NPOかけはしのお二人が、こども食堂の内容を中心に話します。

■定員: 30名 ■参加費: 500円 ■講師: 市民活動推進センター職員
■ゲスト: 富岡 ひとみ氏、坂本 雅史氏(NPOかけはし)

講座受講のお申込みは、窓口・電話・FAX・電子メールにて受付けます。電子メール・FAXでお申込みの際は、講座名・氏名・電話番号・FAX番号・所属団体・参加動機をご記入ください。名古屋市内に在住、在勤、在学の方、または名古屋市内で活動している(活動する意思のある)個人・団体を対象とします。詳しくは、当センターのホームページをご覧ください。

※定員に達した時点で、締め切らせていただきます。ご了承ください。

■NPOのためのアドバイザー相談 [参加費:無料、要申込]

内容	日程	担当アドバイザー
会計・税務	9/20[金] 14:00～, 15:30～	橋本 俊也(税理士)
設立・運営	9/27[金] 16:00～	織田 元樹(NPO法人ボラみみより情報局)
会計・税務	10/11[金] 10:00～, 11:30～, 14:00～	黒田 朱里(公認会計士・税理士)
設立・運営	10/24[木] 16:00～	織田 元樹(NPO法人ボラみみより情報局)

※アドバイザー相談は、名古屋市内で活動する(または活動予定のある)NPO・市民活動団体が対象です。

名古屋市民活動推進センター
問合せ 住所:〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号
申込先 ナディアパークデザインセンタービル6階
電話:052-228-8039 FAX:052-228-8073
電子メール: npo@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp
URL: <https://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/>



■センターからのお知らせ

当センターのInstagramを始めました。センター主催講座やイベント・相談事業など、活動に役立つ情報を発信しています。フォローをお願いします。



スタッフのつぶやき

スタッフ: 伊藤

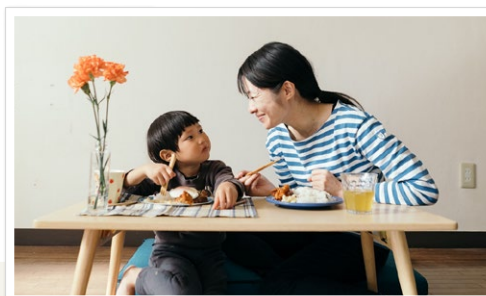
令和6年度から所長に就任しました伊藤葉子です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。「別に私がやらなくてもいい」けど、ちょっとやったら誰かの役に立つアイデアや活動。もしこの世から市民活動がなくなったら…? 殺伐とした世の中になっちゃうじゃないか! そう、市民活動のない世界なんて考えられない。市民活動をこの世の王道に! 自分にできることを、できる範囲で…そんなゆるい感じで私も活動しています。



新しく認定NPO法人になった団体をご紹介します！

団体名 **LivEQuality HUB**

- 事務所所在地：名古屋市東区
- 主たる活動分野：保健、医療又は福祉の増進を図る活動
人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- 認定期間：令和5年12月1日から令和10年11月30日まで



Q：どんな活動をしているのですか？

A：私たちは、名古屋市を拠点に、DVから逃れた女性とその子どもたちが新しい生活を始めるための住居提供や、地域コミュニティとの連携を図るサポートを行っています。また、食糧支援や物資支援、行政などの各窓口への同行支援も実施し、彼女たちが自立した生活を築けるよう支援しています。

Q：なぜ認定を取ろうと思ったのですか？

A：私たちの活動は、サポートしているご家庭からお金を得ることができず、寄付金や助成金を主な資金源としています。認定を取得することで、より多くの支援を受けやすくなるだけでなく、信頼性も高まると考えました。私たちの活動を広く知ってもらうためには、認定NPO法人としての信頼性が不可欠です。そのため、設立当初より認定取得を目指して活動してきました。



Q：これから認定・特例認定NPO法人を目指す団体にアドバイスをお願いします！

A：認定を目指す際には、バックオフィスの運用が重要な鍵となります。理事会の適切な運用や寄付者名簿の管理など、少ない人数で支援現場を持っていると、どうしても後手に回ってしまうことをしっかり行うことが大事です。大変な道のりですが、より多くの人に、長く支援を届けるために、ぜひチャレンジしてください。

「LivEQuality HUB」についてのさらに詳しい情報は、こちらをご覧ください。

- ホームページ：<https://livequality.co.jp/hub/about>
- 問い合わせ：info@livequality.co.jp



認定・特例認定・条例指定NPO法人の制度や申請方法、手引きについては、当センターのホームページの専用ページ (URL https://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/npo_support/npo_recognition.html) をご覧ください。



5・6月の設立認証NPO法人

名称	所在区	主な活動分野
総合数理イノベーション	天白区	学術・文化・芸術・スポーツ
グローバル教育支援協会	名東区	国際協力



6月末現在の所管法人数

★ 認証法人数：867法人 認定法人数：31法人 特例認定法人数：3法人

“災害ボランティアコーディネーター養成講座”を実施しています！

災害ボランティアコーディネーターは、発災時、被災者からのニーズと全国から訪れるボランティアをマッチングさせる、被災地復興の兆し、希望であり、なくてはならない存在です。また、平常時は防災訓練への協力や防災啓発イベントなどを実施しており、地域における防災のスペシャリストです。

名古屋市では、平成14年度から始まった当講座の修了生が各区で災害ボランティア団体を立ち上げ、発災時には被災現場で、平常時には地域で活動をしています。

そこで、災害ボランティアコーディネーター養成講座を受講して、災害に関するたくさんの知識を身に付け、発災時にはコーディネーターとして活躍し、平常時には防災・減災活動を一緒にやってみませんか？



昨年度受講者の声（アンケートより）

グループワークは悩む問題ばかりで勉強になりました。状況によって、YesにもNoにもなりうる問題ばかりでそれを判断しなければならぬ現場は大変なところだとつくづく思いました。

模擬演習では、ゼロから自分達で作りに上げていく難しさは身にしみましたが、間違えた方が記憶に残ると思いました。反省点はたくさんありますが楽しかったです。



ジジョ

災害ボランティアコーディネーター養成講座

- ◆9月開催講座は、好評につき、募集を締め切りました。
- ◆次回は、2月に開催を予定しております。

なごや災害ボランティアコーディネーター養成講座についてはこちら

https://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/project/saigaivc_youseikouza/



なごや 市民活動通信



2024
9・10月号
No.113
無料

なごやNPO応援フェス 10/20(日) @ナディアパーク

名古屋市では、社会課題の解決のために重要な役割を果たしているNPOの活動を応援する、NPOと市民のイベント「なごやNPO応援フェス」を開催します!「名古屋まつり」と同日開催です。

当日はナディアパークで、NPOの活動紹介ブースや催し物、チャリティイベント(クラウン・オン・ザ・ステージ、NPOトークセッション ※チケット制)を予定しています。

楽しみながらNPOの活動に触れ、応援しようと思っただけのイベントになるよう準備していますので、皆さまぜひお立ち寄りください!

★日時: 10月20日(日) 10:00~16:00

★場所: ナディアパーク・2F アトリウム、
3F デザインホール、
6F セミナールーム、
6F 市民活動推進センター



チャリティイベント

●クラウン・オン・ザ・ステージ

NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会による、クラウン(道化師)のコメディショーを開催します。

★場所: 3F デザインホール

★時間: 第1回11:00~12:00、第2回15:00~16:00

★チャリティチケット料金: 各回 大人(中学生以上) 1,000円、子ども(3歳以上) 500円、3歳未満 無料

●NPOトークセッション

恩田千佐子氏(中京テレビアナウンサー)をゲストに迎え、NPOスタッフとのトークセッションを行います。NPO活動のやりがいや苦勞について、恩田氏のトークを交えながら展開します。

★場所: 3F デザインホール

★時間: 13:00~14:00

★チャリティチケット料金: 1,000円、未就学児 無料



チャリティイベントのチケット購入についてはこちら

Peatix: https://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/project/npo_ouen_R6/ticket/

※入場料はすべて、チャリティとして参加NPOの活動資金になります。



※この冊子は、「なごや市民活動通信」と、「未来をつむぐライフマガジン『ボラみみ』」の合冊です。

■発行日: 2024年9月1日

●「なごや市民活動通信」のお問い合わせ

●「ボラみみ」のお問い合わせ

■発行部数: 9000部

名古屋市民活動推進センター TEL 052-228-8039

特定非営利活動法人ボラみみより情報局 TEL 052-228-7824

印刷: 愛源株式会社 ©名古屋市民活動推進センター 2024 禁・無断転載